

6 本時の学習

(1) ねらい

- ・ 試しの活動の経験や話し合いの目当てを基に、それぞれの活動形態の価値を比べたり、違う意見を理解したりしながらよりよい決定をすることができる。
- ・ 元気な声で明るい挨拶ができるようになるための活動形態を決め、「あこがれ」の6年生になり、「勇気」をもって意欲的に取り組もうとする気持ちを高めることができる。

(2) 展開

学習過程	予想される子供の活動と意識の流れ	配時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ : 指導上の留意点</li> <li>ゴシック : 研究主題との関連 (視点)</li> <li>☆ : 特別な配慮を要する子供への支援</li> </ul>	目指す子供の姿と評価方法																
①ねらいを確認する	<p>1 始めの言葉 (副司会)</p> <p>2 役割紹介 (司会)</p> <p>3 議題と話し合いの目当ての確認 (司会)</p> <p>議題 元気な声で明るい挨拶を全校に広げるために、6年生の挨拶を見直そう</p> <p>①それぞれの案の共通するよさや、よさの違いをはっきりさせよう。</p> <p>②元気で明るい挨拶を広めるためのやり方を決めよう。</p> <p>4 提案理由の確認 (提案者)</p> <p>毎日、地域の人や先生、友達と会い、挨拶を交わす場面はたくさんあります。でも、まだ「自分から目を合わせ、元気な声で明るい挨拶をする」ことができていません。この課題を乗り越えるために、挨拶運動のやり方を決めようと思います。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に次のような準備を行うことによって、自分の立場と考えを明確にして話し合いに臨み、決められた時間内で話し合いが深まるようにする。</li> <li>①会議カードに自分の考えと理由を書く。</li> <li>②全員の意見をまとめたプリントを見て、自分の意見と比較する。</li> <li>③会議カードに自他の意見のよいところや心配なこと、解決策等を書き込む。</li> </ul> <p>&lt;(2) -①&gt;</p>	<p>【思考・判断・実践】</p> <p>(司会グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進行計画カードに基づき、各案のよい点や心配な点、その解決策等を整理しながら話し合いを進めることができる。</li> </ul> <p>(観察・進行計画カード)</p>																
②話し合う ・ 出し合い タイム	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A案 個人で場所を決めて挨拶をする</th> <th>B案 グループで場所を決めて挨拶をする</th> <th>C案 全員で挨拶をする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よい点</td> <td>・自分が挨拶をしないといけないから、やっている実感ももてる。 ・自分に挨拶を返してくれるのが分かってうれしい。</td> <td>・人数が限られているので、グループのだれがしっかり挨拶をしているか分かる。 ・挨拶運動でなくても挨拶をするのは当たり前だが、当番として出なくてよい日があるので、負担が少なく取り組める。</td> <td>・人数が少ないと、はずかしくて勇気が出ずなかなか自分から挨拶ができないけれど、みんなでやれば自然にできる。 ・たくさんの人でやることで、絶え間なく挨拶がこたましていて気持ちが良い。</td> </tr> <tr> <td>心配点</td> <td>・さぼる人がいそう。 ・挨拶をしてもしていない友達もいるという挨拶をしていたか分からない。</td> <td>・グループの組み方や場所によっては、さぼる人がいそう。 ・挨拶運動が始まって、最初のグループは、全校のみんなが戸惑って挨拶を返してもらえないかもしれない。</td> <td>・自分にだけ返事が返ってこなかったら嫌だ。 ・自分がしなくても、何となく時間が過ぎていき、おしゃべりをして、ちゃんと挨拶をしていない人がいそう。</td> </tr> <tr> <td>解決策</td> <td>・場所をいくつか限定する。 ・取り組んだことや挨拶が必要な場所の情報交換をすればいい。</td> <td>・挨拶をする場所やグループを変える。 ・最初からうまくいくことを期待しない。やり続けることで、みんなが元気に挨拶してくれるようになると思う。</td> <td>・全員が責任をもって行動して挨拶をする。 ・返事がなくても挨拶を続けることから始める。 ・人に挨拶をしてもらうためではなく、自分たちが「気持ちよく挨拶をする」ことが目的だと思う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・それぞれの意見について、よい点や心配な点、解決策を中心に話し合う。また、試しの活動のときの様子について自由に意見を交換する。</p>		A案 個人で場所を決めて挨拶をする	B案 グループで場所を決めて挨拶をする	C案 全員で挨拶をする	よい点	・自分が挨拶をしないといけないから、やっている実感ももてる。 ・自分に挨拶を返してくれるのが分かってうれしい。	・人数が限られているので、グループのだれがしっかり挨拶をしているか分かる。 ・挨拶運動でなくても挨拶をするのは当たり前だが、当番として出なくてよい日があるので、負担が少なく取り組める。	・人数が少ないと、はずかしくて勇気が出ずなかなか自分から挨拶ができないけれど、みんなでやれば自然にできる。 ・たくさんの人でやることで、絶え間なく挨拶がこたましていて気持ちが良い。	心配点	・さぼる人がいそう。 ・挨拶をしてもしていない友達もいるという挨拶をしていたか分からない。	・グループの組み方や場所によっては、さぼる人がいそう。 ・挨拶運動が始まって、最初のグループは、全校のみんなが戸惑って挨拶を返してもらえないかもしれない。	・自分にだけ返事が返ってこなかったら嫌だ。 ・自分がしなくても、何となく時間が過ぎていき、おしゃべりをして、ちゃんと挨拶をしていない人がいそう。	解決策	・場所をいくつか限定する。 ・取り組んだことや挨拶が必要な場所の情報交換をすればいい。	・挨拶をする場所やグループを変える。 ・最初からうまくいくことを期待しない。やり続けることで、みんなが元気に挨拶してくれるようになると思う。	・全員が責任をもって行動して挨拶をする。 ・返事がなくても挨拶を続けることから始める。 ・人に挨拶をしてもらうためではなく、自分たちが「気持ちよく挨拶をする」ことが目的だと思う。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見の一覧表を基に、事前に司会グループと取り上げる意見の順番や話し合いの流れを確認しておく。</li> <li>・ 黒板書記は、意見を書いた短冊を黒板に位置付けていくことで、似た意見や解決策等を分かりやすく整理するようにする。</li> </ul> <p>&lt;(3) -①&gt;</p>	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶運動のやり方について、自分の考えを発言したり、友達の意見の異同を比べながら聞いたりしている。</li> </ul> <p>(観察・会議カード)</p>
	A案 個人で場所を決めて挨拶をする	B案 グループで場所を決めて挨拶をする	C案 全員で挨拶をする																	
よい点	・自分が挨拶をしないといけないから、やっている実感ももてる。 ・自分に挨拶を返してくれるのが分かってうれしい。	・人数が限られているので、グループのだれがしっかり挨拶をしているか分かる。 ・挨拶運動でなくても挨拶をするのは当たり前だが、当番として出なくてよい日があるので、負担が少なく取り組める。	・人数が少ないと、はずかしくて勇気が出ずなかなか自分から挨拶ができないけれど、みんなでやれば自然にできる。 ・たくさんの人でやることで、絶え間なく挨拶がこたましていて気持ちが良い。																	
心配点	・さぼる人がいそう。 ・挨拶をしてもしていない友達もいるという挨拶をしていたか分からない。	・グループの組み方や場所によっては、さぼる人がいそう。 ・挨拶運動が始まって、最初のグループは、全校のみんなが戸惑って挨拶を返してもらえないかもしれない。	・自分にだけ返事が返ってこなかったら嫌だ。 ・自分がしなくても、何となく時間が過ぎていき、おしゃべりをして、ちゃんと挨拶をしていない人がいそう。																	
解決策	・場所をいくつか限定する。 ・取り組んだことや挨拶が必要な場所の情報交換をすればいい。	・挨拶をする場所やグループを変える。 ・最初からうまくいくことを期待しない。やり続けることで、みんなが元気に挨拶してくれるようになると思う。	・全員が責任をもって行動して挨拶をする。 ・返事がなくても挨拶を続けることから始める。 ・人に挨拶をしてもらうためではなく、自分たちが「気持ちよく挨拶をする」ことが目的だと思う。																	
・ 比べ合い タイム	<p>・ 教師が論点を整理し、価値について話し合う。</p>	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合う過程で意見が変わっていったことや、カードに書いたことにとらわれずに話すことを助言する。 &lt;(3) -③&gt;</li> <li>・ 話し合いの目当てや学級目標を意識した発言や態度がみられたときは、すぐに称賛し広める。</li> <li>☆自分の思いを書いたり、話したりすることを苦手としている児童には、事前の会議カードや意見一覧表を見て意見を書くときに、教師と一緒に思いを確認しながら聞き取ったり、書き込ませたりするようにする。</li> </ul>																	
・ 分かり合い タイム	<p>普段、自分から挨拶をしていないことが多いし、挨拶することは大切だと分かっているのにできないことが多い。自分から積極的にしなければいけないA案やB案のよさは分かった。でも、自信のない人でもできるC案がよいと思う。毎日全校のみんなに全員で挨拶することで自信が付き、これからもっと積極的に自分から挨拶できるようになると思うからだ。</p> <p>論点</p> <p>さわやかな挨拶を広め、6年生がパワーアップするためには、今どれが自分たちに必要か。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が共通の価値を整理し、価値の違いは何かを明確にする。その上で論点である「さわやかな挨拶を広める」「パワーアップ」につなげるための話し合いを深め、合意に向かわせる。 &lt;(3) -②&gt;</li> <li>・ 分かり合いタイムでは、いったん自分の立場を離れて、自分の考えと違う意見について理解するように促し、相手の意見について触れながら自分の意見をまとめ直し、話し合うように促す。 &lt;(3) -③&gt;</li> </ul>																	
・ 決定 タイム	<p>・ 決定方法を確認し、全員の合意の基に決定する。</p> <p>5 決定内容の発表 (ノート書記)</p> <p>6 振り返り (全員)</p> <p>・ 会議カードに決定したことを書き、自己評価と学級の評価を記入する。</p> <p>・ 話し合いをして考えたこと、感じたことを発表する。</p> <p>7 先生の話 (担任)</p> <p>8 終わりの言葉 (司会)</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議カードに、話し合いへの参加態度や意見交換について、3段階評価と根拠を記入させ、振り返らせる。</li> <li>・ 子供たちが選択した活動の価値を意味付け、この後、学級のみんなが目指す姿を確認する。</li> </ul>																	

(3) 視点

比べ合いタイムで論点を整理して話し合いを焦点化した後の分かり合いタイムは、よりよい決定をするために有効であったか。

